

沼田町一貫・連携教育～一步一歩確かな歩みを～

一貫連携教育～空知教育局が全面バックアップ～

今年度は、一貫・連携教育の3年計画の2年目として、系統だった指導計画の作成や小中の乗り入れ授業、合同授業、各種交流活動の具体的な取り組みを形作って行くこととしていますが、この取り組みが、6月2日（月）、空知管内から唯一、北海道教育委員会「小中連携、一貫教育実践事業」指定（3年間）を受けました。現在、沼田町の幼・小・中の全ての先生方で組織されている沼田町教育振興会の各サークルが中心となって種々協議が進められています。空知教育局の全面バックアップを受け、心新たに歩み始めました。

家庭地域部会

～伊藤部長を中心に16名で生活リズム改善に取り組む～

6月18日（水）、ゆめっくるにおいて、第3回家庭地域部会を開催しました。モンスター攻略ブックと生活リズムチェックシートの5月分集計について、全体会議、幼小・中ワークショップを行い、望ましい生活リズム（寝る時刻、起きる時刻、勉強の時間、本を読む時間、テレビ・ゲーム・携帯・ネット・ライン等）の時間について、踏み込んだ話し合いが行われました。



▲熱い！家庭地域部会の皆さん



▲熱気・知恵・ユーモアあふれる小川校長先生

「乗り入れ授業」始まる！

～中学校の小川校長が小学校6年生へ外国語活動を～

6月27日（金）3時間目、小学6年生の外国語活動の時間に中学校の小川校長による”乗り入れ授業”が行われました。乗り入れ授業”とは、小学校教員が中学校へ、中学校教員が小学校へ赴いて行う形式の授業のことです。これにより中学校教師の専門性の発揮による児童の興味 関心を高め学力の向上や中1ギャップの軽減や小中の系統性を意識した学習指導ができるといったメリットがあり、沼田町で進めている幼小中一貫・連携教育を進めるための一つの方策としています。

授業は担任の村上先生のもとで、小川校長先生とALTのディヴィット先生が協力しながら、本格的な英語の授業を行い、後半には高校の入試の聞き取り問題も行いました。慣れてくると小学生も答えることが出来、熱い指導により教室から英会話と笑顔があふれ新鮮で充実した時間となりました。

スクールバンドと吹奏楽部のコラボ演奏～心を一つに40人のサウンドを披露～



▲大会に華を添える小中合同演奏

7月8日（火）第41回町民体育祭に向けた小学校スクールバンドと中学校吹奏楽部の総勢40名の合同練習が小学校グラウンドで行われました。この取り組みは沼田町が進めている一貫・連携教育の一環で、目的の一つである各園・学校間の円滑な接続を目指すためのものです。

7月13日（日）の体育祭当日は、小学校「威風堂々」、中学校「アフリカンシンフォニー」、合同は「RPG」の演奏に拍手喝采でした。町民の皆様の温かいご声援ありがとうございました。